

大学院医学薬学教育部

生命・臨床医学専攻
東西統合医学専攻
(博士課程)

学生募集要項(第2回)

平成30年4月入学

平成29年12月
富山大学

目 次

博士課程学生募集要項

入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
1 募 集 人 員	1
2 出 願 資 格	1
3 出 願 手 続	2
4 入 学 者 選 抜 方 法	3
5 合 格 者 発 表	4
6 入 学 手 続	4
7 入学志願者の個人情報保護について	4
8 注 意 事 項	4

大学院医学薬学教育部（博士課程）の概要

1 目 的	5
2 構 成 及 び 履 修 基 準	5
3 専 攻 の 概 要	5
4 授 業 科 目 一 覧	6
5 指 導 教 員 研 究 内 容 一 覧	6
6 教 育 方 法 の 特 例	6
7 学 位 の 授 与	6
8 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」 養成プランについて	6
9 認知症チーム医療リーダー養成コースについて	7
別表Ⅰ 授業科目一覧	8
別表Ⅱ 認知症チーム医療リーダー養成コース	10
別表Ⅲ 指導教員研究内容一覧	11

本学大学院医学薬学教育部 生命・臨床医学専攻，東西統合医学専攻博士課程（平成30年4月入学）の学生募集は，2回に分けて実施しますが，第2回の学生募集は，この学生募集要項により実施します。

なお，第1回の学生募集は，平成29年8月に実施しました。

博士課程学生募集要項

アドミッションポリシー〈求める人材〉

- ・ 医学・医療の分野における最先端の研究に取り組みたい人
- ・ 医学・医療の教育研究に対する熱意と能力があり、将来の国内外の医療・医学に貢献する意欲のある人。
- ・ 他分野の多彩な学問領域において高い基礎学力を身につけ、医学・医療の分野における最新の研究を志す人。

1 募 集 人 員

専 攻	募集人員	備 考
生命・臨床医学専攻	18人	募集人員には、それぞれ第1回の合格者及び「社会人」(若干人)を含みます。
東西統合医学専攻	7人	

- (注)
- ・ 入学志願者は、事前に志望する専攻・研究分野の指導教員と教育・研究等に関する方向性等について必ず相談してください。
 - ・ 本教育部では、社会人の就学に特別な配慮を行うため「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例」を適用し、教育上特別の必要があると認められる場合は離職することなく、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行います。
なお、社会人とは、病院（医員を含み得る。）、教育・研究機関、企業等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有する者をいいます。

2 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修した者に限る。）及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
 - ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
 - ③ 次の各号の一に該当する者で、大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者

と同等以上の学力があると認めた者

ア 修士課程（理・工学等）を修了した者及び修士の学位の授与（理・工学等）を受けることのできる者

イ 前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者〔学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。〕

ウ 大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育法における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、本教育部において認めたもの

(8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院博士課程（修業年限が4年のものに限る。）に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本教育部において認めたもの

(9) 本教育部において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達しているもの

(10) 大学（医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、その在学期間中に所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本教育部において認めた者

(注) ・ 出願資格(1)に該当する者で医学部又は歯学部を卒業した者は、医師又は歯科医師の免許を取得することが望ましい。

・ 出願資格(10)の「文部科学大臣が定める者」には、外国における相当課程を修了した者等があります。詳細については本学 医薬系学務課（入試担当）にお問い合わせください。

・ 出願資格(7)～(10)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査等を行うので、**平成30年1月5日（金）まで**に本学 医薬系学務課（入試担当）に詳細を必ず問い合わせてください。

3 出 願 手 続

(1) 出願方法

入学志願者は次の期間内に、**銀行振込による「検定料」の納付を済ませた上で**、封筒に「**大学院医学薬学教育部（博士課程）入学願書在中**」と朱書きし、出願書類等を「**書留・速達**」で郵送してください。

平成30年1月15日（月）～平成30年2月15日（木）（消印有効）

「出願書類等郵送先 〒930-0194 富山市杉谷2630番地

富山大学 医薬系学務課（入試担当）」

なお、「検定料」の納付方法については、「(3) 検定料の納付方法」を参照してください。

(2) 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本学所定の用紙によります。
② 卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長が作成したもの（本学出身者は不要）
③ 修了（見込）証明書	出身大学（研究科）長が作成したもの （大学院修士課程（博士前期課程）修了（見込）者のみ）
④ 成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し厳封したもの（大学入学後の全成績） （大学院修士課程（博士前期課程）修了（見込）者にあつては、当該研究科の長が作成し厳封した成績証明書も添付してください。）
⑤ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙によります。写真（上半身、無帽、正面向、単身とし、出願前3か月以内に撮影したもの（縦4cm、横3cm））を写真欄にはり付けてください。
⑥ 検 定 料 振 込 証 明 書	本学所定の「検定料振込依頼書」により、金融機関で「検定料」を納付後、金融機関発行の「振込金証明書（検定料）」をはり付けたものを提出してください。ただし、本学の各教育部（研究科）に在学中の者で、引き続き本教育部（博士課程）に進学しようとする場合は、「検定料」の納付は必要ありません。

⑦	受験承認書	他の大学院等に在学中の者又は官公庁、民間会社に在職中の者は、当該大学院研究科長又は所属長の受験承認書を添付してください。(様式随意)
⑧	住民票の写し (右記該当者のみ)	現に日本国に在住している外国人は、市町村長又は特別区長の交付する住民票の写しを添付してください。
⑨	返信用封筒	受験票の送付に使用するもので、長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手362円(速達)をはり付けてください。
⑩	あて名票(合格通知書等送付用)	本学所定の用紙によります。郵便番号、住所、氏名を記入してください。

(3) 検定料の納付方法

検定料**30,000円**を**平成30年2月15日(木)午後3時まで**に納付してください。

ただし、本学の各教育部(研究科)の前期課程又は修士課程に在学中の者で、引き続き本教育部(博士課程)に進学しようとする場合は、「検定料」の納付は必要ありませんので注意してください。

検定料は、「電信振込」を取り扱う最寄りの銀行、信用金庫及び農協等の窓口で本学所定の用紙により振込みをしてください。

ATM(現金自動預払機)による振込みはしないでください。また、ゆうちょ銀行からの振込みはできません。

なお、納付された検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料の振込みをしたが富山大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった、又は出願書類が受理されなかった)場合
- ② 検定料の振込みを二重にした場合
- ③ 検定料の金額を超えて振込みをした場合

(注) 検定料の返還請求の必要が生じた場合は、別紙「検定料返還請求書」により、必ず「振込金証明書(検定料)」をはり付けて、富山大学へ郵送してください。

送付先 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学 財務部 経理課
電話 (076) 445-6053

(4) 障害を有する入学志願者の事前相談

障害を有する入学志願者は、受験及び修学の際に特別な配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ち、本学 医薬系学務課(入試担当)に相談してください。

なお、相談に際しては、下記事項を記載した書類及び医師の診断書の提出を求め場合があります。

- ・ 障害の種類・程度
- ・ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 日常生活の状況、その他参考となる事項

① 相談期限 **平成30年2月15日(木)**

② 連絡先 〒930-0194 富山市杉谷2630番地
富山大学 医薬系学務課(入試担当)
電話 (076) 434-7658

4 入学者選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び成績証明書の成績を総合して行います。

(1) 筆記試験

外国語(英語)について行います。(英和辞書^(注)持込み可。ただし、電子辞書、医学辞書は除く。)

(注) 外国籍を有する者で、母国語が「英語」ではない場合の、辞書の持込みについては、事前に本学 医薬系学務課(入試担当)に照会願います。

(2) 口述試験

志望する専攻・教育分野について行います。

(3) 試験日程及び試験場

月 日(曜)	時 間	試験科目等	試 験 場
平成30年 3月1日(木)	9:30~11:00	外国語(英語)	富山市杉谷2630番地 富山大学 杉谷(医薬系)キャンパス
	13:00~	口 述 試 験	

5 合格者発表

平成30年3月9日(金)午後3時、本学杉谷(医薬系)キャンパス医学部研究棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人に通知します。

なお、電話、FAX等による合否の問合せには、一切応じません。

6 入学手続

入学手続は、次のとおりですが、詳細については合格者に通知します。

- (1) 入学手続日 **平成30年3月22日(木)**(予定)
 - (2) 入学手続場所 富山大学 杉谷(医薬系)キャンパス
 - (3) 入学手続に必要な書類等
合格通知書、写真(縦4cm、横3cmでカラー撮影)、在学誓書(本学所定の用紙)等
 - (4) 入学手続に必要な経費等
ア 入学料 **282,000円(予定額)**
- (注) ① 上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、改定時から新たな入学料が適用されます。
- ② 納付された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- イ その他
- ① 入学料の納付が困難と認められる場合には、選考の上、免除・徴収猶予されることがあります。
 - ② 授業料の納付については、**入学後に納付することとなります。**なお、納付金額・納付方法については入学手続時に案内します。
<参考>平成29年度授業料 年額535,800円
 - ③ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度があります。
 - ④ 学生教育研究災害傷害保険制度等の経費が別途必要です。
- (5) 注意事項
入学手続日に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

7 入学志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学前における準備教育及び入学後における①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての氏名、住所に限り、課外活動団体並びに本学の関係団体である同窓会、後援会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。
(注) 上記団体からの連絡を希望しない場合は、本学 医薬系学務課(入試担当)にその旨申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

8 注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 受理された出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願に関する事項その他についての問合せは、下記記述に照会してください。

〒930-0194 富山市杉谷2630番地

富山大学 医薬系学務課(入試担当) 電話(076)434-7658

大学院医学薬学教育部（博士課程）の概要

1 目 的

医師、薬剤師を始め、医療に携わる人材育成には、それぞれの分野における学問の進歩を取り入れた最新の教育体制を構築する一方、医学及び薬学が相互に連携し、総合的な視野から医療の知識と技術を生かすことが社会的に求められています。このような先進性と総合的判断力を備えた医療分野の人材を育成するため、本学ではこれまでの医学系研究科と薬学研究科を統合して医学薬学教育部を設置し、医学薬学系の高度かつ人間性豊かな教育・研究を推進する体制を構築しています。

本学医学薬学教育部では、医学、看護学及び薬学を総合した特色のある教育・研究の両面から、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな想像力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を備えた人材を、高度医療専門職業人あるいは教育研究者として育成することを目的としています。

2 構成及び履修基準

(1) 専攻及び修業年限

- ① 本学医学薬学教育部（博士課程）には、生命・臨床医学専攻、東西統合医学専攻、薬科学専攻、薬学専攻の4専攻を置きます。
- ② 本学医学薬学教育部生命・臨床医学専攻、東西統合医学専攻（博士課程）における修業年限は、4年を標準とします。

(2) 履修基準

本学医学薬学教育部生命・臨床医学専攻、東西統合医学専攻（博士課程）における履修基準は、次の表に掲げるとおりとします。

専攻	選 択 科 目			必 修 科 目			合 計
	講 義			演 習	共通 特論	特別 研究	
	自専攻の 開講科目	他専攻 (自教育部) の開講科目	他教育部* の開講科目				
生命・臨床医学専攻 東西統合医学専攻	4単位 以上	2単位 以上	2単位 以上	4単位	4単位	14単位	30単位 以上

*生命融合科学教育部，理工学教育部

3 専攻の概要

○ 生命・臨床医学専攻

生命活動システムにおける各臓器の基礎的研究，障害発症における病態生理学解明，およびその予防・治療法の開発を有機的・横断的に行います。これらの研究により，特に中枢神経系，感覚系，筋骨格系，および呼吸循環系における障害発症の病態生理学的解明から，薬物と生体との相互作用，さらには機能回復，機能再建まで総合的に把握できる人材を育成します。

また，環境生体防御システムにおける生物，自然社会など人間を取り巻く環境因子と発生・発育障害や疾病・老化などとの関係を，分子から疫学レベルまでを含む学際的な手法により科学的に解明し，疾病・疾病の原因解明および治療・予防法に関して総合的に教育研究を行います。

さらに，基礎研究と臨床応用の橋渡しとなるトランスレーショナルリサーチの展開を行います。このことで，最新医療技術導入による医療の高度化が行える医療従事者を養成します。特に，個の特性に基づいた医療の確立と患者主体の看護体制を強化できる人材を養成し，少子高齢化社会における疾病予防と治療法の開発をできる人材と，生活習慣・社会環境変化に対応した健康医療科学の構築ができる人材を育成します。

○ 東西統合医学専攻

東西統合医学専攻では、西洋医学の最先端の技術を用いた東洋医学の効果と作用機構の解明等の研究を通して、東洋医学と西洋医学の両方の知識を備え世界の医学・医療をリードできる複眼的人材を育成することを目的とします。

4 授業科目一覧

別表Ⅰのとおり

5 指導教員研究内容一覧

別表Ⅲのとおり

6 教育方法の特例

教育方法の特例を受ける者は、昼間における履修のほかに、指導教員と相談して履修計画書を提出した場合、授業及び研究指導を夜間に履修することができます。その時間帯は原則として月曜日から金曜日の18時05分から21時10分を予定していますが、この時間帯以外にも授業科目によっては、土曜日又は夏季休業等に履修することができます。

なお、授業時間帯は次のとおり予定しています。

I限	8:45~10:15	II限	10:30~12:00	III限	13:00~14:30
IV限	14:45~16:15	V限	16:30~18:00		
VI限	18:05~19:35	VII限	19:40~21:10		

7 学位の授与

○ 生命・臨床医学専攻、東西統合医学専攻

(1) 学位の種類は、博士(医学)とします。

(2) 博士(医学)の学位は、大学院に4年以上在学し、「2 構成及び履修基準」の「(2)履修基準」により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、3年以上在学し、極めて優れた研究業績を上げ、所定の要件を満たした場合には、在学期間が4年未満であっても学位を授与することがあります。

また、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限(4年)を超えて一定の期間にわたり計画的に課程を履修し、修了することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることがあります。

8 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プランについて

医学薬学教育部(博士課程)では、平成30年4月に多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)を養成するため、生命・臨床医学専攻および東西統合医学専攻に「高齢がん患者対策専門コース」を、薬学専攻に「高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース」を設置します。

各コースは、先進的がん医療人の育成を目的としており、ゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がんや希少がん症例の研究等を学習することができます。

修了の要件および履修方法については、平成30年4月にご案内しますので、概要については、下記URLを参照してください。

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

<http://www.gan-pro.net>

9 認知症チーム医療リーダー養成コースについて

本学医学薬学教育部生命・臨床医学専攻（博士課程）には、認知症チーム医療リーダー養成コースがあり、認知症の臨床研究等に精通した専門医の養成、他職種連携教育を推進し、チーム医療の中心となる人材を育成します。

修了の要件及び履修方法については、別表Ⅱの授業科目のうち、必修科目を 22 単位及び選択科目を 8 単位以上の計 30 単位以上を取得し、認知症に関する研究論文が学位審査に合格する必要があります。

授業科目一覧

生命・臨床医学専攻

(平成29年4月現在)

	授 業 科 目	配当年次	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
授 業 科 目 の 概 要	循環器病学特論	1~4		2		
	運動機能制御学特論	1~4		2		
	平衡神経学特論	1~4		2		
	口腔腫瘍治療学特論	1~4		2		
	疼痛管理学特論	1~4		2		
	循環器外科特論	1~4		2		
	脳科学特論	1~4		2		
	消化器分子病態学特論	1~4		2		
	消化器腫瘍分子標的治療学特論	1~4		2		
	泌尿器・性器内分泌学特論	1~4		2		
	臨床分子病態学特論	1~4		2		
	腫瘍病理学特論	1~4		2		
	分子放射線腫瘍学特論	1~4		2		
	消化器腫瘍治療学特論	1~4		2		
	感染予防医学特論	1~4		2		
	ウイルス学特論 I	1~4		2		
	ウイルス学特論 II	1~4		2		
	社会疫学特論	1~4		2		
	環境医学特論	1~4		2		
	法医学特論	1~4		2		
	生活習慣病特論	1~4		2		
	臨床アレルギー学特論	1~4		2		
	心臓生理特論	1~4		2		
	感覚運動機能病態学特論	1~4		2		
	聴覚言語音声学特論	1~4		2		
	医用外科工学特論	1~4		2		
	麻酔薬作用機序仮説特論	1~4		2		
	発生工学特論	1~4		2		
	医療コミュニケーション特論	1~4		2		
	泌尿器・性器腫瘍治療学特論	1~4		2		
	生体分子情報処理特論	1~4		2		
	研究手法・機器分析特論	1~4		2		
	化学物質特論 I	1~4		2		
	化学物質特論 II	1~4		2		
認知脳科学特論	1~4		2			
診断病理学特論	1~4		2			
放射線医科学特論	1~4		2			
放射線画像診断特論	1~4		2			
腫瘍病因学特論	1~4		2			
分子心臓病態学特論	1~4		2			

ヒト免疫不全ウイルス感染症特論	1～4		2		※研究倫理・研究方法論は e-learning ※日本語・日本文化は、留学生に限る。
理論疫学特論	1～4		2		
脂質栄養学特論	1～4		2		
血液型糖鎖の生合成と制御特論	1～4		2		
自己免疫学特論	1～4		2		
感染免疫学特論	1～4		2		
実験動物学特論	1～4		2		
再生医学特論	1～4		2		
救急・災害医学特論	1～4		2		
蘇生医学特論	1～4		2		
臨床分子腫瘍学	1～4		2		
免疫分子機能学特論	1～4		2		
免疫細胞機能学特論	1～4		2		
医学特論	1～4	4			
生命・臨床医学演習	1～4	4			
生命・臨床医学特別研究	1～4	14			
研究倫理・研究方法論	1～4			1	
日本語・日本文化	1～4			4	
計		22	106	5	

東西統合医学専攻

	授 業 科 目	配当年次	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
授 業 科 目 の 概 要	神経薬理学特論	1～4		2		※研究倫理・研究方法論は e-learning ※日本語・日本文化は、留学生に限る。
	和漢薬の作用機構特論	1～4		2		
	視覚生理病態特論	1～4		2		
	皮膚アレルギー学概論	1～4		2		
	生殖免疫学特論	1～4		2		
	胎児・周産期医学特論	1～4		2		
	呼吸・循環調節機能特論	1～4		2		
	和漢治療学特論	1～4		2		
	臨床統計学の基礎	1～4		1		
	臨床研究の計画法	1～4		1		
	医学特論	1～4	4			
	東西統合医学演習	1～4	4			
	東西統合医学特別研究	1～4	14			
	研究倫理・研究方法論	1～4			1	
	日本語・日本文化	1～4			4	
計		22	18	5		

別表Ⅱ

認知症チーム医療リーダー養成コース（生命・臨床医学専攻）

授 業 科 目	配当年次	単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
認知症基礎	1～4		1		
認知症症候学	1～4		1		
認知症検査・診断学	1～4		1		
認知症治療・予防学	1～4		1		
認知症ケア・リハビリ・地域支援・倫理	1～4		1		
認知症各論Ⅰ	1～4		1		
認知症各論Ⅱ	1～4		1		
認知症特論	1～4		2		
認知症診断・治療学演習Ⅰ	1～4		1		
認知症診断・治療学演習Ⅱ	1～4		1		
認知症診断・治療学演習Ⅲ	1～4		1		
認知症診断・治療学演習Ⅳ	1～4		1		
地域認知症疫学・予防・ケア実習	1～4		3		
認知症・神経難病の臨床病理実習	1～4		3		
医学特論	1～4	4			
生命・臨床医学演習	1～4	4			
生命・臨床医学特別研究	1～4	1 4			
研究倫理・研究方法論	1～4			1	
計		2 2	1 9	1	

指導教員研究内容一覧（博士課程）

生命・臨床医学専攻

教育分野	指導教員	主な研究内容
再生医学	教授 二階堂 敏 雄	<ul style="list-style-type: none"> ・種々の組織の再生に関する組織学的研究 ・組織再生の分子生物学的研究 ・癌幹細胞に関する研究 ・胎盤や羊膜等の組織学および発生学的研究 ・ヒト細胞を用いた組織工学 ・免疫のフィードバック機構に関する抗原提示細胞の研究—特に 微少環境の構築について ・免疫組織化学，電子顕微鏡法による組織形態学的研究
分子免疫学	今回募集しない	
感染予防医学	教授 山 本 善 裕	<ul style="list-style-type: none"> ・分子生物学的手法を用いた MRSA サーベイランスの確立 ・慢性緑膿菌感染症に対する薬剤選択因子の探索 ・非結核性抗酸菌症の発症および予後因子の解明 ・深在性真菌症の薬剤耐性機序に関する研究 ・HIV 感染における遺伝子治療法への挑戦
ウイルス学	教授 白 木 公 康 (平成 30 年 3 月退職予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・帯状疱疹とその痛みの発症メカニズムの解明 ・ヘルペスウイルスの潜伏感染と神経病原性の研究 ・新規抗インフルエンザ薬 (T-705) と抗ヘルペス薬 (amenamevir) の開発研究 ・和漢薬・葛根湯の作用機序の解明
疫学・健康政策学	教授 関 根 道 和	<p>疫学・健康政策学講座では、富山出生コホート研究と日本公務員研究の 2 つの大規模疫学研究を実施している。日本公務員研究は、地方公務員約 5 千名を対象とした職域の心理社会的ストレスと健康に関する縦断研究で、ロンドン大学ユニバーシティカレッジの英国公務員研究、ヘルシンキ大学のフィンランド公務員研究との国際共同研究である。国家間の類似点や相違点を明らかにし、健康政策提言を行っている。また、富山出生コホート研究は、平成元年度生まれの約 1 万人を対象とした縦断研究であり、小児期からの総合的な健康増進のためのエビデンスを集積している。富山認知症研究は、65 歳以上の高齢者約千人を対象とした疫学研究であり、高齢者の生活の実態把握と認知症を含めた老年病学的研究を行っている。</p> <p>大学院生は、講座が行っている調査研究に参加し、研究の計画、実施、分析、論文執筆までの一連の研究作法を学ぶ。現在の主たる研究テーマは下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 心理社会的ストレスやワーク・ライフ・バランスと健康に関する国際比較研究 (2) 社会経済的要因による健康格差に関する国際比較研究 (3) 小児期からの生活習慣病予防に関する研究 (4) 認知症の疫学・予防医学的研究
公衆衛生学	教授 稲 寺 秀 邦	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康と環境に関する調査研究 ・環境汚染物質の生体影響と分子メカニズムの解明 ・生活習慣病の予防に関する研究 ・職域における心身の健康増進に関する研究

教育分野	指導教員	主な研究内容
法医学	教授 西田尚樹	<ul style="list-style-type: none"> ・成人、乳幼児突然死の病理、遺伝子異常 ・中毒患者や、入浴中の突然死に関する研究 ・加齢や神経変性疾患に伴う循環器、中枢神経の形態変化 ・自殺予防を目指した実態調査と疫学的研究 ・剖検例から見た診療関連死の調査研究
循環器・腎臓内科学	教授 絹川弘一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・種々のバイオマーカーを用いた心不全に対する薬物治療の最適化プロトコルの確立 ・非侵襲的在宅テレモニタリングシステムの開発と心不全による再入院予防の試み ・心不全に対する非薬物治療による交感神経活動抑制の機序解明 ・心肺機能から分類する新しい心不全のステージング ・心筋特異的遺伝子発現パターンを改変することによる心不全治療の可能性 ・β受容体と心筋リモデリング可塑性の関連 ・腎集合管のviabilityを規定する因子の同定 ・心不全の自律神経機能異常に対する腎除神経の影響 ・心房細動発症機序の解明
小児発達医学	教授 足立雄一	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患に対する免疫療法の作用機序 ・環境因子とアレルギー疾患発症との関係に関する研究 ・心臓性突然死例(致死性不整脈、心筋症)の遺伝子診断 ・早期心手術施行後の神経発達に関する研究 ・小児白血病の免疫学的診断と治療 ・低出生体重児と成人期生活習慣病との関連性についての研究
循環呼吸器総合外科学	教授 芳村直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・形態からみた不整脈の機序の解明 ・肺癌の基礎的・臨床的研究 ・動脈硬化に関する外科的研究 ・冠動脈疾患の外科治療に関する研究 ・心不全の循環動態と補助に関する研究 ・先天性心疾患の外科治療に関する研究
整形外科・運動器病学	教授 木村友厚	<ul style="list-style-type: none"> ・軟骨分化メカニズムに関する研究 ・椎間板および関節軟骨変性の病態と、修復再生に関する研究 ・脊椎靭帯骨化の臨床ならびに遺伝学的研究 ・関節リウマチの関節破壊メカニズムと治療に関する研究 ・骨軟部腫瘍の発生と治療に関する研究
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授 將積日出夫	<ul style="list-style-type: none"> ・内耳疾患に関する基礎的・臨床的研究 ・耳鼻咽喉科領域における羊膜臨床応用に関する研究 ・聴覚・前庭覚・嗅覚刺激に対する脳機能イメージングの研究 ・低侵襲前庭機能検査開発に関する基礎的・臨床的研究 ・頭頸部悪性腫瘍診断・治療に関する臨床的研究
麻酔・周術期管理学	教授 山崎光章	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔薬の中枢神経作用(メカニズム)に関する研究 ・鎮痛薬の鎮痛作用機序及び副作用に関する研究 ・神経障害性疼痛の機序及び治療法に関する研究 ・敗血症モデルにおける麻酔・循環作動薬の作用に関する研究

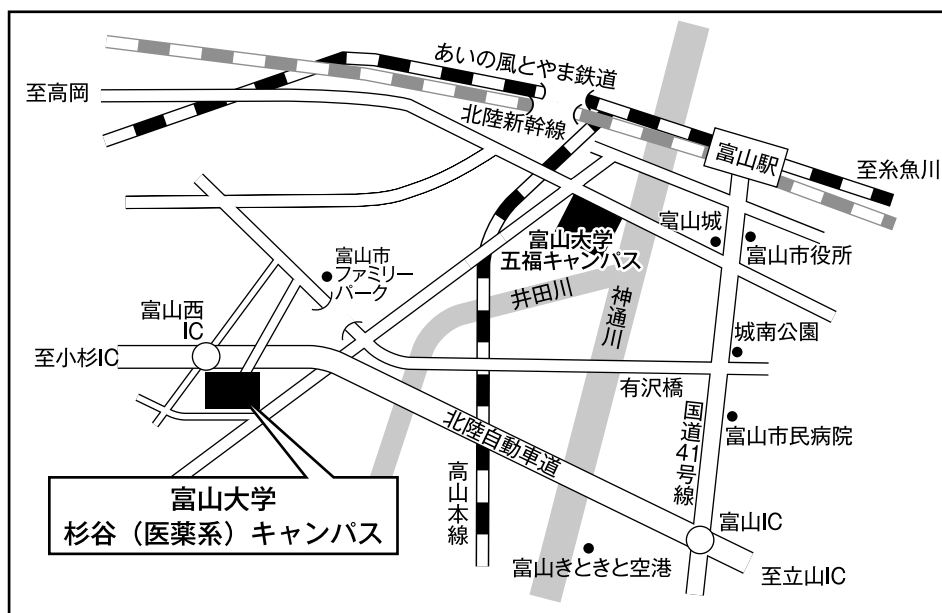
教育分野	指導教員	主な研究内容
病理診断学	教授 井村 穰 二	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍細胞のもつ浸潤・転移機構に係わる研究 ・腫瘍細胞の構築ならびにその極性を制御する機構に関する研究 ・イタイイタイ病の病態解明に関する研究 ・病理・細胞診断を基盤とした形態ならびに分子病理学的診断に関する研究 ・腫瘍細胞内での転写制御機構に関する研究 ・腫瘍細胞内で発現している分子の捕捉と診断への応用に関する研究 ・炎症性腸疾患における免疫異常の解明
消化器・造血器 腫瘍制御内科学	教授 杉山 敏 郎 (平成30年3月退職予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコバクター・ピロリ菌による胃発癌機序と癌予防の確立 ・消化管粘膜の知覚センサー系の分子機構と関連疾患 ・消化管間葉系腫瘍 (GIST) の分子標的治療と薬剤耐性克服 ・炎症性腸疾患の免疫病態と新規分子標的治療法 ・肝炎・肝硬変・肝癌の進展と病態 ・造血器腫瘍の骨髄移植治療時の免疫病態と治療効果
放射線診断治療学	教授 野口 京	<ul style="list-style-type: none"> ・脳疾患に対する新しいCT撮像法の開発 ・脳疾患に対する新しいMRI撮像法の開発 ・MRIによる脳機能の評価 ・機能画像による腫瘍の治療効果の評価
消化器・腫瘍・ 総合外科学	教授 藤井 努	<ul style="list-style-type: none"> ・膵癌などの難治性消化器癌の進展における臨床病理学的研究 ・ヒト腫瘍における分子生物学的研究 ・手術侵襲における生体反応とその制御の研究 ・消化器癌・内分泌腫瘍の治療に関する臨床的研究 ・消化器癌のバイオマーカーの探索、個別化医療の開発 ・新規手術術式の開発
腎泌尿器科学	教授 北村 寛	<ul style="list-style-type: none"> ・泌尿器癌のバイオマーカー研究: 診断, 個別化医療および治療標的に有用なバイオマーカーの探究 ・泌尿器癌に対する免疫療法の開発: エピトープ特異的がんワクチンのトランスレーショナル・リサーチ ・泌尿器癌における癌幹細胞研究 ・前立腺癌における増殖因子の解析と治療開発 ・造精機能障害の原因解明に関する in vitro および in vivo 研究 ・血管内皮細胞に着目した性機能障害に対する新規治療の開発 ・腎移植後の拒絶反応における Heat Shock Protein の役割と新規免疫抑制療法法の確立を目指した研究
総合口腔科学	教授 野口 誠	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔癌の顎骨浸潤と局所免疫に関する研究 ・口腔癌の浸潤局所における免疫抑制性細胞集団の機能解析 ・口腔癌の癌幹細胞をターゲットとした新規治療法の開発 ・Bone-modifying agent による顎骨壊死の発症機序に関する研究 ・口腔機能・形態再建における再生医療の応用に関する研究 ・口腔機能リハビリに関する研究
臨床分子病態検査学	教授 北島 勲	<ul style="list-style-type: none"> ・転写因子活性化計測 (蛍光相関分光法 S C F) を用いた NF-κB シグナリングの病態 (特に敗血症, S I R S) 研究 ・Tm マッピング法を基盤にした新規感染症起因菌同定システムの開発

教育分野	指導教員	主 な 研 究 内 容
危機管理医学・ 医療安全学	教 授 奥 寺 敬	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理医学の基礎的並びに応用研究 ・神経救急医学の方法論の確立 ・マス・ギャザリング医学の導入と応用研究 ・救命救急医療システムの客観的評価法の確立 ・社会資源を活用するER トリアージシステムの開発 ・危機管理医学教育学の研究 ・医療安全学のエビデンスの集積と教育法の研究
代謝・免疫・ 呼吸器病学	教 授 戸 邊 一 之	<ul style="list-style-type: none"> ・2型糖尿病・メタボリックシンドロームの病態の解明と治療法・ 予防法の開発 ・2型糖尿病・リウマチ・喘息の遺伝的素因に基づいた医療（オー ダーメイド医療）の開発 ・長寿遺伝子 Sirt ファミリー蛋白質と生活習慣病発症における役割 ・リウマチ・膠原病の早期発見・早期治療薬の開発に関する研究 ・肺癌の早期発見・早期診断法の開発に関する研究 ・喘息や慢性閉塞性肺疾患の病態の解明と治療法の開発の研究 ・腸内細菌叢が糖代謝に与える影響についての研究
神 経 内 科	教 授 中 辻 裕 司	<ul style="list-style-type: none"> ・多発性硬化症・NMO の病態解明と予防法・治療法の開発研究。 ・腸管免疫を基盤とした神経疾患（脳卒中・神経変性疾患・脱髄疾 患）の予防・治療法の開発研究。 ・神経疾患の診断・治療を目指したバイオマーカー（酸化ストレス、 神経炎症・画像）の開発研究。
臨 床 腫 瘍 部	教 授 林 龍 二	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍免疫 MDSC における Sirt1 の役割の解明 ・COPD, 間質性肺炎から肺癌発生機序の解明 ・非喫煙者における肺癌発症危険因子の探求 ・緩和医療が生命予後に与える影響に関する研究 ・がん診療における病診連携のあり方に関する研究

東西統合医学専攻

教育分野	指導教員	主な研究内容
分子医科薬理学	教授 服部 裕一	<ul style="list-style-type: none"> ・動物モデルを用いた敗血症症候群治療薬の探索 ・心血管障害を標的とした糖尿病の予防・治療法の開発 ・腸管粘膜炎症の病態解明とその制御技術の開発
皮膚科学	教授 清水 忠道	<ul style="list-style-type: none"> ・アトピー性皮膚炎を代表とする炎症性皮膚疾患の病態解析 ・光老化及び光発癌の発症機序の解明 ・皮膚リンパ腫の発症機序の解明 ・角化のメカニズム ・皮膚創傷治癒の研究
産科婦人科学	教授 齋藤 滋	<ul style="list-style-type: none"> ・生殖免疫学についての基礎的並びに臨床的研究 ・生殖内分泌学とサイトカインについての研究 ・胎盤の増殖・分化についての研究 ・婦人科悪性腫瘍に関する臨床病理学的研究 ・不育症, 妊娠高血圧症候群, 早産, 子宮内膜症
眼科学	教授 林 篤志	<ul style="list-style-type: none"> ・眼内新生血管に対する新たな治療薬とその投与方法に関する研究 ・乾燥羊膜を用いた新たな眼疾患治療モデルの開発 ・眼感染症における病因の迅速診断と治療の研究 ・網膜変性疾患に対する神経保護を目的とした薬物治療の研究 ・眼腫瘍における遺伝子発現とバイオマーカーの同定
和漢診療学	教授 嶋田 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・和漢薬の微小循環改善作用：血管内皮障害, 動脈硬化などに対する作用機構 ・和漢薬の細胞・臓器保護作用：虚血性神経障害, 高血圧・糖尿病性臓器障害などに対する作用機構 ・和漢薬の免疫調整・生体防御作用：リウマチ性疾患, アレルギー性疾患, 感染症などに対する作用機構
バイオ統計学・臨床疫学	教授 折笠 秀樹	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究データの統計解析（サブ解析, 予後予測モデル, メタ分析） ・QOL(生活の質)の評価法 ・臨床研究の評価法及び教育 ・統計教育法 ・薬剤疫学

富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス位置図



富山大学 杉谷（医薬系）キャンパスへの交通機関

◎ バス

- ・富山駅南口のバス停留所（3番のりば）から「富大附属病院循環」に乗車，「富山大学附属病院」停留所にて下車（所要時間約30分）
- ・高岡駅前のバス停留所（5番のりば）から「富山大学附属病院」行に乗車，「富山大学附属病院」停留所にて下車（所要時間約50分） ※平日のみ運行

◎ その他

- ・富山きときと空港より車で約20分
- ・北陸自動車道「富山西IC」より車で約5分



学生募集要項，障害を有する入学志願者の事前相談 及び入学試験に関する問合せ先

*問合せは，やむを得ない場合を除き，志願者本人が行ってください。

〒930-0194 富山市杉谷2630番地
富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス 医薬系学務課（入試担当）
電話（076）434-7658